

令和4年7月22日【金】

令和4年度1学期終業式

みなさんおはようございます。

また、リモートでの終業式です。私の姿は皆さんに見えていると思いますが、私には皆さんが見えないことがとても残念です。こちらを見て聞いてくれていると想像しながらお話をします。

今年の1学期は、感染対策をしながら、様々な行事も実施でき、以前の学校のリズムに近い活動ができたと思います。しかしながら、昨日東京の感染者数が3万人・埼玉県では1万人を超えたとのニュースもあり、感染拡大がすさまじいものとなっています。

1学期を振り返ってみると、全学年校外行事に行けたり、保護者が来場したうえでの体育祭が実施出来たりと良い事もたくさんありましたが、いったん梅雨明け宣言された6月末はとんでもない猛暑で、生徒の皆さんや授業をされていた先生方は、大変なつらい環境で期末テスト前一番追い込みの勉強をすることとなってしまいました。期末テストに入ると猛暑はいったんどこかに行き、先週から今週にかけては梅雨明けが怪しいと思うほどの晴れない日々、ぐずついた天気が続いていますね。天気もそうですが、最近、地球は、そして日本はどうなってしまうのだろうと思うような出来事が本当に数々起きています。九州や東北での集中豪雨がいつ自分たちの居住地に起こるかわかりません。あらためて命を守る行動を意識しなければならない毎日です。

そのような中で、この一学期、学習に、学校行事に、部活動に本当によく頑張りました。今日1学期を締めくくるにあたり、少し油断していた生活を振り返り、これから迎える夏休みを有意義に過ごすように心がけましょう。

さて今月に入り、安倍元総理大臣が、選挙のための演説中に凶弾に倒れるという大変ショッキングな事件が起きました。3年生の中で成人年齢を迎えた人は、日本の将来を考えて、初めての選挙に挑もうとしていた時であったと思います。平和で安全な社会について、あらためて考えなければならぬと思いました、昨年度から続いているウクライナでの戦争も大変悲惨で、はじめは、こんなことが現代でも起こったことにショックを覚えました。その時にも増して、尊い命が、このようにあっけなく奪われてしまうことを、身近に感じ、一つの考えのために人の命を奪ったり、暴力に訴えたりすることの愚かさを感じた事件でした。

儂い存在である私たち人間が、尊く誇りをもって生きていくためには、今のこの瞬間を大切に作る心構えが必要だと思いました。

皆さんにもう一つお話をします。

始業式での話を覚えていますか。忘れている人もいるかと思いますが、要約すると一見無理なこと、無茶なこと、無駄なことに夢中になる。そんな若者になってほしいといいました。自らの限界を勝手に決めて「自分には無理」「やっても無駄」「そんな無茶な」と自分の心に

勝手にブレーキをかけてあきらめてしまう。これほど若者にとって、愚かなことはありません。若いからこそチャレンジしてほしいのです。

先日フィギュアスケートの羽生結弦選手が競技スケートから引退しました。ご本人は引退という言葉は一切言っておらず、プロへ転向して新たなチャレンジが始まると語っていました。数々の前人未到の記録を打ち立て国民栄誉賞も受賞した素晴らしい選手ですが、私個人は、最後のメダルが取れなかった北京オリンピックでの姿が一番印象に残っています。人間には不可能と言われ、練習でもほとんど成功しなかった4回転半ジャンプに挑んでいた姿です。結果は転倒しましたが、人類初の4回転半を飛んだことは公式で認められました。メダルには届きませんでしたが、夢を追いかけている彼の姿はどれほど多くの人に勇気を与えたでしょうか、後日報道で知りましたがケガもしていたそうです。やると決めたからにはどんなことになってもやる。私は世界で一番カッコいい生き方だと思いました。

夏休みは絶好のチャンスです。目標を高く設定し、普段できないこと、無理かもとあきらめていることにぜひ挑んでください。目標が高ければ高いほど、それ相応の努力が必要です。途中で「自分には無理」「無駄」「無茶だった」などと思わず、是非、良い夏休みにしてください。

厳しい夏を乗り越えられれば、必ず実りの秋がやってきます。8月31日には一回り成長した皆さんとお会いすることを楽しみにしています。